

科目名	栄養指導論演習				
授業形態	演習	学年	2		
開講時期	2023 年度 前期	単位数	1		
担当教員	鈴木 秀子				
内容および計画	栄養指導論で学んだ栄養教育・指導の理論と技術について演習を行い、実践的に栄養教育・指導技術を習得する。また、栄養指導論ならびに応用栄養学、臨床栄養学の知識を基礎として、ライフステージ別、健康障害別集団栄養教育・指導について、企画立案から指導の展開、評価までを具体的に学ぶ。				
1	栄養介入のための食事管理プロセス ・個人の食事摂取基準を算出する。				
2	栄養介入のための食事管理プロセス ・食品群別荷重平均成分表を作成する。				
3	栄養介入のための食事管理プロセス ・食品構成を作成する。				
4	栄養介入のための食事管理プロセス ・食品構成を作成する				
5	栄養介入のための食事管理プロセス ・献立計画を立てる（期間献立）。				
6	栄養介入のための食事管理プロセス ・1日分の献立を立てる。				
7	栄養施策の活用 ・「食事バランスガイド」を活用して食事計画を作成する。				
8	栄養施策の活用 ・「食事バランスガイド」を活用して食事を評価する。				
9	栄養施策の活用 ・「離乳・授乳の支援ガイド」について学ぶ。				
10	栄養教育・指導計画 ・ライフステージ別、健康障害別集団栄養教育・指導の計画及び媒体を作成する。				
11	栄養教育・指導計画 ・ライフステージ別、健康障害別集団栄養教育・指導の計画及び媒体を作成する。				
12	栄養教育・指導の実際 ・模擬栄養教育・指導を実践する。				
13	栄養教育・指導の実際 ・模擬栄養教育・指導を実践・評価する。				
14	栄養教育・指導の実際 ・模擬栄養教育・指導を実践・評価する。				
15	栄養教育・指導の実際 ・模擬栄養教育・指導を実践・評価する。				
教科書					
タイトル		著者名	出版社	ISBN	発行年
食事バランスガイドを活用した栄養教育・食育実践マニュアル		武見ゆかり・吉池信男	第一出版	9784804113586	2018
新版ヘルス 21 栄養教育・栄養指導論		辻とみ子・堀田千津子	医歯薬出版	9784263707180	2020
日本人の食事摂取基準（2020年版）		伊藤貞嘉・佐々木敏監修	第一出版株式会社	9784804114088	2020

参考書	
成績評価	
評価方法	割合(%)
提出物	70
実技（模擬集団栄養指導）	30
学習到達目標	栄養の指導を行うための基礎的技術の修得 1. 個人の性・年齢・身体状況に基づいた食事摂取基準が算定できる。 2. 対象者の身体状況及び嗜好等にあった食品構成及び献立が作成できる。 3. 栄養教育・指導計画に基づいた栄養教育・指導ができる。
先修条件	栄養指導論を履修していること。 コミュニケーション学、栄養情報処理（応用）を履修することが望ましい。
実務経験	実務経験あり： 県の栄養技師として、総合病院、保健所に 17 年間勤務した。 病院では傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導をはじめ栄養管理や給食管理業務、保健所では地域の健康政策の企画・立案とそれに基づく健康づくり事業、乳幼児等の栄養相談、特定給食施設の指導や支援業務及び地区組織育成に従事した。 この経験をもとに、食生活論、栄養指導論、栄養指導論演習、栄養指導論実習、公衆栄養学概論について教授する。
その他	栄養士必修科目である栄養指導論及び栄養指導論実習の理解を深めるために、履修することが望ましい。